

参加者募集：ベトナム熱帯感染症研修 2016



募 集： 医師 5名

(国立国際医療研究センター 研修医 + 指導医の合計10名での研修となります)

参加条件： 日本の医療機関に在籍していること

すでに熱帯感染症の基礎について基本的な学習を終えていること

例：過去に当院の「輸入感染症講習会」を修了している

国内外の感染症研修プログラムで学んでいる

下記の研修スケジュールにすべて参加できること

内 容： ホーチミン市にある熱帯病専門病院で、1日2回の回診・症例検討・専門医による講義・検査部門の視察・共同ラボの見学等。現地での使用言語(講義・発表)は英語です。通訳はありません。

研 修： 2016年12月12日～12月16日 (以下は予定)

実習中は、毎朝現地の医師等と回診をします。白衣・聴診器等をご持参下さい。

12月11日(日) 夕方の便で出国 夜 ホーチミン着 ホテルでオリエンテーション

12月12日(月) 臨床研修 外来・病棟 講義

12月13日(火) 臨床研修 外来・病棟 講義

12月14日(水) 臨床研修 ラボ見学 中間発表

12月15日(木) 臨床研修 外来・病棟 講義

12月16日(金) 臨床研修 外来・病棟 最終発表 ホーチミン→日本 (深夜発フライト)

12月17日(土) 朝 日本帰国

【参加に必要な費用】 ※支払法は参加決定者にご案内します

1) 飛行機：昨年実績 6～9万円(燃料・サーチャージ込)

2) 宿泊：昨年実績 ホテル エクアトリアル(ホーチミン市) 個室 WiFiあり・朝食付き 5泊で7～10万円

3) 研修費：5日間 3万円 現地の講師への謝金等諸経費を含む

4) その他：現地での食費・交通費(タクシー)等

本研修プログラムは国立国際医療研究センターの研修医・フェローを対象に開催してきましたが、外部からの参加希望の声にお応えし、新たに参加枠を設けることになりました。ご参加お待ちしております。(締め切り11月5日。応募者多数の前は締め切りを繰り上げることがあります)

事務局：国立国際医療研究センター 国立国際医療研究センター

国際感染症対策室(竹下・堀) TEL 03-3202-7181(代) FAX03-3202-1012 info-dcc@hosp.ncgm.go.jp

[飛行機・宿泊の手配の相談]

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル4階

(株)H.I.S. 虎の門法人営業所

TEL: 03-3519-7191 Email: tb-hojintrm@his-world.com

営業時間 月～金 9:30～18:00 ※土日休み

ベトナム 熱帯感染症研修 2016
参加申込書(FAXまたはメールで送ってください)

FAX 03-3202-1012 E-mail info-dcc@hosp.ncgm.go.jp

- 氏名(漢字)
- 氏名(英語)
- 生年月日: 19 年 月 日 ■年齢()歳 ■性別: 女性・男性
- 所属先:
- 所属科:
- 職 位: 常勤スタッフ 非常勤スタッフ 研修生 (後期、感染症フェロー)
大学院生 その他()
- 基礎知識:
過去に輸入感染症講習会で学んだことがある
国内外の研修で学んだことがある()
現在の感染症トレーニングで学んだことがある
その他()
- 出発空港(予定):
成田 羽田 関空 その他()
- 連絡先 住所:
電話: FAX:
e-mail
- ベトナム滞在中、お互いの連絡に使用できる携帯電話を
もっている→番号
もっていない
- 緊急連絡先 氏名: 関係: 電話番号

【参加にあたってのお願い】

- 出発前に必要なワクチン接種を自分の責任で済ませてください。
※麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B型肝炎、A型肝炎は強く推奨します。
- 現地でのmeetingおよび研修における集合時間・ルールを守ってください。
- 現地の医療機関で知りえた個人情報・症例写真等は漏えいしないようご注意ください。
- 飛行機の手配は各自で行ってください(HISによる手配をご案内できます)。
- 毎日meetingを開催するため、**必ず指定のホテルに宿泊していただきます。**
- お申し込みが確定したあとの研修費のキャンセルはできませんのでご了承ください。
- 旅行保険への加入を強くおすすめします。加入手続きは各自の責任で行ってください。
- 参加記録や写真を当センターの広報などで活用させていただくことがあります。
- ホテル・飛行機のキャンセルは旅行会社規約をご確認ください。
- 以上についてご理解いただいたうえで、お申し込みください。